

コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月28日

項目	内容
事業者名	会社名:株式会社サンエムカラー 代表者職名・氏名:代表取締役会長兼社長 松井 勝美
補助事業テーマ	画像処理を含む 3D 技術を使った VR, AR 事業の構築
事業実施期間	令和2年10月1日 ~ 令和3年2月28日
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>① インバウンド顧客向けオンライン免税店への商品及び商品の 3D 画像提供。</li> <li>② 建設業界における設計環境に、文化・美術品的なインテリア商品及び商品の 3D 画像提供。</li> <li>③ 京都の伝統産業の商品を 3D 画像化して固有の仮想店舗へ陳列。</li> <li>④ 美術館・ギャラリーの 3D 空間化と 3D 展示品の陳列。</li> <li>⑤ 京都の寺社仏閣の所蔵する文化・美術品のデジタルアーカイブと、3D 化した仮想空間での拝観環境の実現。</li> </ol>
事業の実績(成果)	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 海外向けECサイト数軒とのコンタクトを経て、まず中国向けのオンライン免税店に当社の保有する浮世絵コンテンツの提供を開始した。今後のサイト販売における有効な販売方法の確立が課題である。</li> <li>② 建築設計者向けのプラットフォームに、室内インテリアとしての美術品画像データを提供していたが、当社で 3D 化する前に販売が伴わず撤退した。</li> <li>③ 友禅柄で和傘を試作。友禅店と和傘店のホームページに掲載計画が進行中である。</li> <li>④ ⑤ 対象となる寺社仏閣・美術館と多数コンタクト中。事業実現には未だ至っていないが、今回事業の他の場面では受注実績が数軒発生。巨大な対象品や広大な空間を撮影・処理するために、さらに大型の 3D スキャナの導入が必要と判明。新たな設備投資力が課題である。</li> </ol>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外向け EC サイトへの提供コンテンツをさらに開拓して、自社制作製品の販売力を向上させていく。</li> <li>・京都伝統産業の商品を高画質で 3D 化し、店舗ホームページに掲載して地元伝統産業商品の販売拡大につなげていく。</li> <li>・この事業によって新たに関係ができてきた寺社仏閣に対して、文化美術品の保全や観光集客ためのデジタルアーカイブ事業を開始している。この関係を維持しながら、コロナ社会で人が集まる機会が回避されている今、今回事業の大きな目標である「美術館・ギャラリーの VR 化」「寺社仏閣拝観環境の仮想空間化」を目指していく。</li> </ul>